

海域ワーキンググループの経過報告・今後の予定

1 海域ワーキンググループ会合の開催状況

令和3年(2021年)7月26日(月) 第1回ワーキンググループ開催(オンライン会議)

<第1回会合の主な内容>

令和2年度(2020年度)長期モニタリング項目評価調書(案)について

これまで、モニタリング項目ごとの評価については毎年行い、「評価調書」として公表してきましたが、現在の長期モニタリング計画第1期が2022年(令和4年)3月に終了することから、昨年度と今年度の2年間で、期間全体の総括も行っているところです。

現在、前回までに取りまとめた内容について、各委員に最新のデータに基づく見直しを依頼しているところであり、次回海域ワーキンググループまでに、総括結果も盛り込んだ評価調書を完成させ、次回地域連絡会議でご報告する予定です。

長期モニタリング計画に係る評価項目の評価シートについて

知床世界自然遺産では、遺産の価値が維持されているかを評価するための8つの項目を定めていますが、第2期長期モニタリング計画策定に向け、その評価項目ごとに対応するモニタリング項目の評価を総括した「評価シート」を作成することとしています。

第1回海域ワーキンググループでは、昨年度に作成しました担当評価項目に係る評価シート(案)の確認を行いました。今後、委員からの意見を踏まえながら必要に応じて修正を加え、次回海域ワーキンググループにおいて完成させる予定です。

次期長期モニタリング計画に係る評価項目について

次期計画においては、基本的な枠組みは第1期計画を維持しつつ、モニタリング項目や評価の方法については、その妥当性等について検証した上で、一部については見直しを行うこととなっています。

第1回海域ワーキンググループでは、見直しの基本的な考え方について確認し、ワーキンググループ終了後に各委員が担当分野について検討した結果を取りまとめ、科学委員会本会に報告しました。

2 今後の予定及びその他

令和4年2月頃 令和3年度(2021年度)第2回会合の開催(札幌市内)

長期モニタリング項目評価調書作成

長期モニタリング計画第1期 総括による評価を実施

評価シート作成

長期モニタリング項目評価調書に基づき、 、 、 の作成

定期報告書作成

第44回世界遺産委員会決議に係る保全状況報告(案)について